

広報よねざわで毎月1日号に掲載している連載コラムのページをリニューアルしました。これまでの定番コーナーに加えて、偶数月には、国際交流員のトリートさんによる「What IS the Tea? Treat's Thoughts on Yonezawa」、地域おこし協力隊による「今月の協力隊日記」が新たにスタートします。

教えて! 市立病院



【今月のドクター】

小児科部長
ほんま のぶお
本間 信夫 医師

日頃より地域の医療関係者並びに保健福祉関係の皆様には大変お世話になっており、深くお礼申し上げます。当院小児科は現在常勤医師4人が中心になり、置賜地域小児二次医療病院の役割を担うことを目的に診療に取り組んでいます。

外来診療は午前中一般外来を行

〈第110回〉

当院における小児科診療について

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

い、午後から特殊外来や慢性外来などを行っております。

入院診療では、急性疾患の治療のほか、食物アレルギーの食事制限の程度を決定するための負荷試験や、成長ホルモン分泌負荷試験などの検査入院も随時行っています。また周産期医療に関しても産科と協力して安全なお産を実現できるように、ハイリスク分娩での小児科医の立ち合いも行い、軽症から中等度の新生児治療を行っています。さらに高度医療が必要な場合は高次医療機関NICUと連携して新生児搬送をお願いしています。

話は変わりますが、コロナ禍が

続いているせいか子どものこころの問題が増えています。当院でも今回導入した起立試験に対応した血圧計が大活躍しています。また食物アレルギー患者も、小児のアレルギー性鼻炎も増えています。当科でも、小児アレルギー性鼻炎に対する舌下療法を行っており好評を得ています。

子どもは小さな大人ではありません。子どもの疾患も大人とは大きく異なります。そのため一人ひとりの異なるニーズに対応していきたいと考えます。今後ともご支援ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

目指せ! 健康長寿 日本一

★★★★

健康で暮らし続けるためには、望ましい食生活が不可欠です。食の現状を理解し、適量摂取を心掛けましょう。

●食品ロスの半分は家庭から

食べ残しや売れ残り、賞味期限が近いなど様々な理由で、食べられる食品が捨てられてしまうことを「食品ロス」といいます。日本の食品ロスは年間522万tで、国民1人当たり毎日お茶碗約1杯分(約113g)を捨てていることになります。

大量の食品ロスが発生すると、

〈第53回〉

食生活を見直し、食品ロスを減らそう

■問合せ／環境生活課廃棄物対策担当 ☎ 22-5111

ごみ処理に多額のコストがかかるうえ、燃やすことでCO₂排出量の増加など環境への影響もあります。このように多くの食品ロスが発生している一方で、7人に1人の子どもが貧困状態にあり、十分な食事が取れていません。

私たち一人ひとりが食べものを無駄なく大切に消費して、食品ロスを減らしましょう。

●フードドライブとは?

家庭で消費しきれない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動です。集められた食品は、協力団体を経

て、子ども食堂などで使用されます。

●10月は食品ロス削減月間

【パネル展】

■日時／10月3日(月)～31日(月)

■場所／市役所1階市民ホール

■内容／食品ロスの概要などのパネル展示

【フードドライブ】

■日時／10月19日(水)～21日(金)

■場所／市役所1階市民ホール

■内容／フードドライブを実施。ご家庭で食べきれない食品があればご協力ください。※開封したもの、賞味期限が近いものなど受け取れないものがあります。詳しくは市ホームページをご確認ください。

今月の 協力隊日記



カメラが特技です！
担当は **谷山紀佳** 隊員

●人口8万人の街の心地よさ？！

米沢に移住して2ヶ月が経ちました。ほどよく地域の人の顔を認識できて自然とも距離が近く生活必需品も揃う暮らしの心地よさを感じています。

●移住・定住担当の活動スタート！

情報発信や地域と移住者をつなぐ相談員として活動中。9月は、1泊2日で来訪した移住検討者のご案内をしました。人の数だけ色々な悩みがあると感じました。

このコラムでは、地域おこし協力隊が米沢で感じたことをつづっていきます。



What IS the Tea ?

Treat's Thoughts on Yonezawa

〈1st Edition〉

Ramen Shops

ラーメン屋

What IS the Tea ? (最近どう?) Treat's Thoughts on Yonezawa (トリートが米沢で思ったこと) では、国際交流員のトリートさんが最近思ったことなどを紹介します。

(日本語訳)

今年、米沢市内の全てのラーメン屋に一軒ずつ行ってみるという目標があります。米沢にはラーメン屋がたくさんあります。

幼い頃にお父さんと一緒にマルちゃんを作ったり、高校時代に留学先近くの福岡で一蘭ラーメンを食べたり、大学時代にはアメリカのラーメン屋と蕎麦屋で3年間バイトしたり、私もラーメンと人生を共にしてきました。米沢市内の全てのラーメン店に行くことは、地域を知ることだけでなく、私自身の長い人生においても大切な一歩です。

Hello everybody!

国際交流員のトリート・シュエベルトです。アメリカのワシントン州シアトルから来ました。よろしくお願いします！



よねざわ

文化財散歩

〈第10回 中編〉

とつかやま こふんぐん
戸塚山古墳群

■問合せ／社会教育文化課文化財担当 ☎ 22-5111

平成21年度の調査からは、地元の考古学研究者や大学教授などの学識者からなる戸塚山古墳群発掘調査指導委員会を組織し、委員会の指導・助言を仰ぎながら、市教育委員会が主体となり古墳群の実態解明を目指していくこととなりました。平成22年度～25年度には東北芸術工科大学考古学研究室も調査に加わりしました。

平成25年～27年の3か年で行った小山支群B区201号墳の調査では、様々な成果を得られました。以下、201号墳の調査成果について述べます。

201号墳は、横穴式石室を主体部に持つ、直径約13mの



201号墳横穴式石室全景

小円墳であることが確認できました。築造年代は7世紀代で、石室は全長4.4m、遺骸を納める玄室は2.7m×1.2m、羨道は1.7m×0.8mです。玄室・羨道ともに天井石は消失しており、玄室内部は後世に盗掘を受けた痕跡がありましたが、羨道は閉塞石が良好な状態で検出されました。前庭部(墓前)はハの字状に広がり、山の斜面を平坦に整地していました。その前庭部からは多数の土器が出土しましたが、墓前での祭祀や追葬を考えると重要な形態です。201号墳から出土した多数の土器類それぞれの特徴から、産地(窯)は複数あるものと思われます。また、墳丘は列石が廻っていることが確認されました。

たった1基の古墳だけでも非常に多くの調査成果を得ることができましたが、様々な点を分析するのは難しく、古墳群の実態解明はまだ遠い道のりです。